

日経IR・個人投資家フェア

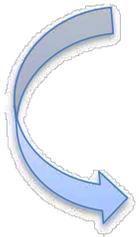
2024年8月23日

J-FLEC

金融経済教育推進機構



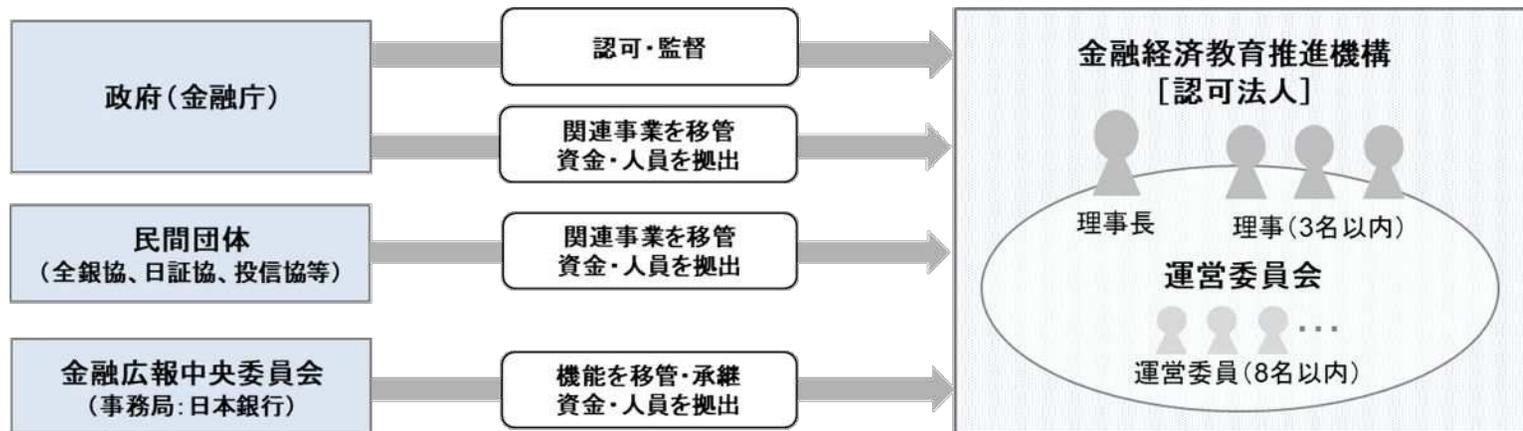
- これまで、政府、金融広報中央委員会、金融関係団体は、学校や職場等において、金融経済教育を実施。
- 但し、課題も存在。
 - 金融経済教育を受けたと認識している人は約7%。
 - 投資詐欺などの被害事案も引き続き散見。
 - 教育の担い手が金融機関・業界団体である場合、受け手（特に、個別企業）から敬遠。



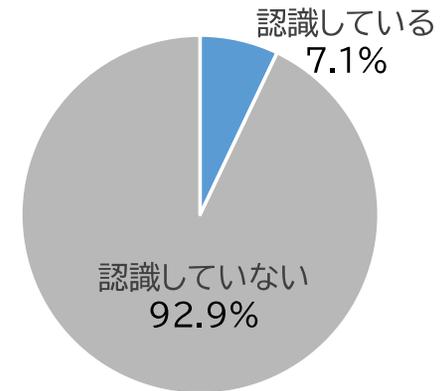
中立公正な教育を、官民一体で国全体に推進する必要。



金融経済教育推進機構の設立(2024年4月5日)



金融経済教育を受けたと認識



(出所)金融広報中央委員会「金融リテラシー調査(2022年)」より。

名称

金融経済教育推進機構
(英)J-FLEC: Japan Financial Literacy and Education Corporation

設立

2024年4月5日 ※ 本年8月より、本格稼働

資本金

10 億 5,729 万 6 千円

政府	:10 億 729 万 6 千円 (注)
日本銀行	:2,500 万円
全国銀行協会	:1,250 万円
日本証券業協会	:1,250 万円

(注)うち5千万円を除く9億5,729万6千円は、設立に係る初期費用に充てる予定。

職員数

約70名

ウェブサイト

<https://www.j-flec.go.jp/>

J-FLEC公式Xアカウント

https://x.com/J_FLEC?s=09



根拠法

金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律
(2024年2月1日施行)

目的

適切な金融サービスの利用等に資する金融又は経済に関する知識を習得し、これを活用する能力の育成を図るための教授及び指導(金融経済教育)を推進すること。

所在地

室町古河三井ビルディング (コレド室町2)
東京都中央区日本橋室町2-3-1 9F



ミッション

私たちは、一人ひとりが描くファイナンシャル・ウェルビーイング^(注)を実現し、自立的で持続可能な生活を送ることのできる社会づくりに貢献します。

(注)自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態。

(国民の安定的な資産形成の支援に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針(令和6年3月15日閣議決定))

ビジョン

私たちは、金融リテラシーの向上を図るプラットフォームとして、時代の移り変わりと個人の多様性に即した金融経済教育を提供し、いまと未来の暮らしをより良くする金融サービスの活用や資産の形成と活用を支援します。



- ◆ 金融は国民にとって必ずしも親しいイメージを持たれているわけではない点を踏まえ、キャラクター性のあるロゴマークを採用。
- ◆ 子供から大人まで全員に対して優しく、ポジティブな印象を与えるコミュニケーションデザインとしてシンプルな造形ながら刻印が笑顔になっている様を表現。
- ◆ また、数字や記号など幅広いバリエーションで制作可能なため、一貫した優しく、親しみやすいイメージをつくりあげられる汎用性の高いデザインとなっている。

1

講師派遣事業

- ◆ 全国の企業や学校等に、J-FLEC認定アドバイザー（J-FLEC講師）を派遣し、金融経済に関する出張授業（無料）を展開。【2024年8月以降、受付開始】

2

イベント・セミナー事業

- ◆ 全国各地で、社会人の方や事業会社（経営者の方）、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催。【2024年8月以降、順次実施】

3

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験事業

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーによる個別相談の無料体験を、J-FLECにおいて、対面またはオンラインで実施。【電話相談を2024年8月2日に開始。その他は同月以降、受付開始】

4

「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーによる有料の個別相談をはじめて利用する方を対象に、相談料が80%オフ（1時間あたり最大8,000円まで割引）になる電子クーポン（3時間分）を配布。【今秋より配布開始】

5

学校等への支援事業

- ◆ 金融経済教育に関する研究活動などに取り組む学校を指定し、教育研究費の助成やアドバイス提供を実施。【2024年8月以降、本格実施】

□ J-FLEC認定アドバイザーとは

J-FLECでは、J-FLECが定める認定要件に合致し所定の審査を通過した個人を、一定の中立性を有する顧客の立場に立ったアドバイザー(「J-FLEC認定アドバイザー」)として認定・公表します。

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等についてアドバイスを行う者を想定。
- ◆ J-FLECは、**J-FLEC認定アドバイザーの氏名のほか、個人がアドバイスを依頼する際に参考となる情報**(保有資格、経歴、得意分野、報酬の目安、自己PR、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)を公表。

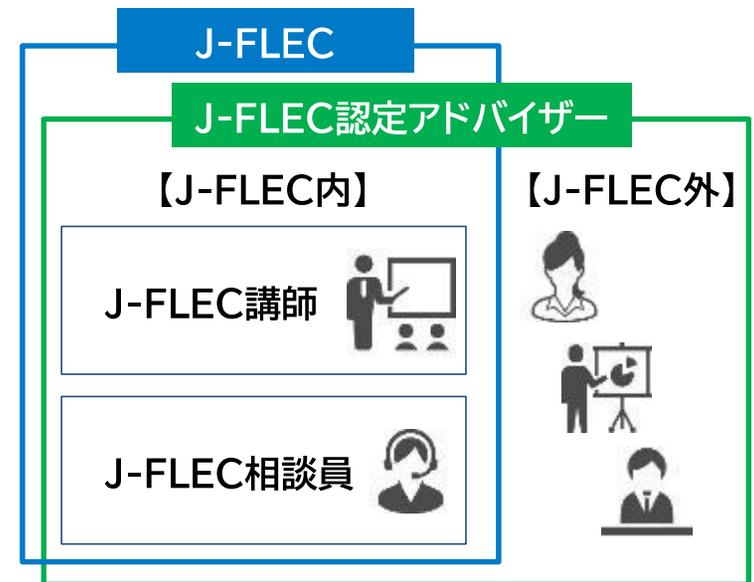
□ J-FLEC講師・相談員

所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザーは、**J-FLECが行う講師派遣(出張授業)の講師、無料相談の相談員業務を行うことが可能**です。

□ 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

J-FLEC認定アドバイザーがJ-FLEC外において営むサービスを利用する個人に対して、**相談料の一部を補助**する仕組み(割引クーポンの電子配布)を創設します。

- ◆ アドバイスの価値や意義を個人に知っていただく契機となるよう、個人が信頼できるアドバイザーにアクセスしやすい環境を整備。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、J-FLEC外においても、その称号を使って個別相談を行うことが可能。



ステップ

1

講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー

J-FLEC

金融経済教育の機会を提供し、ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

ステップ

2

「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

J-FLEC

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取べき具体的な行動を知っていただく。
また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

ステップ

3

「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン

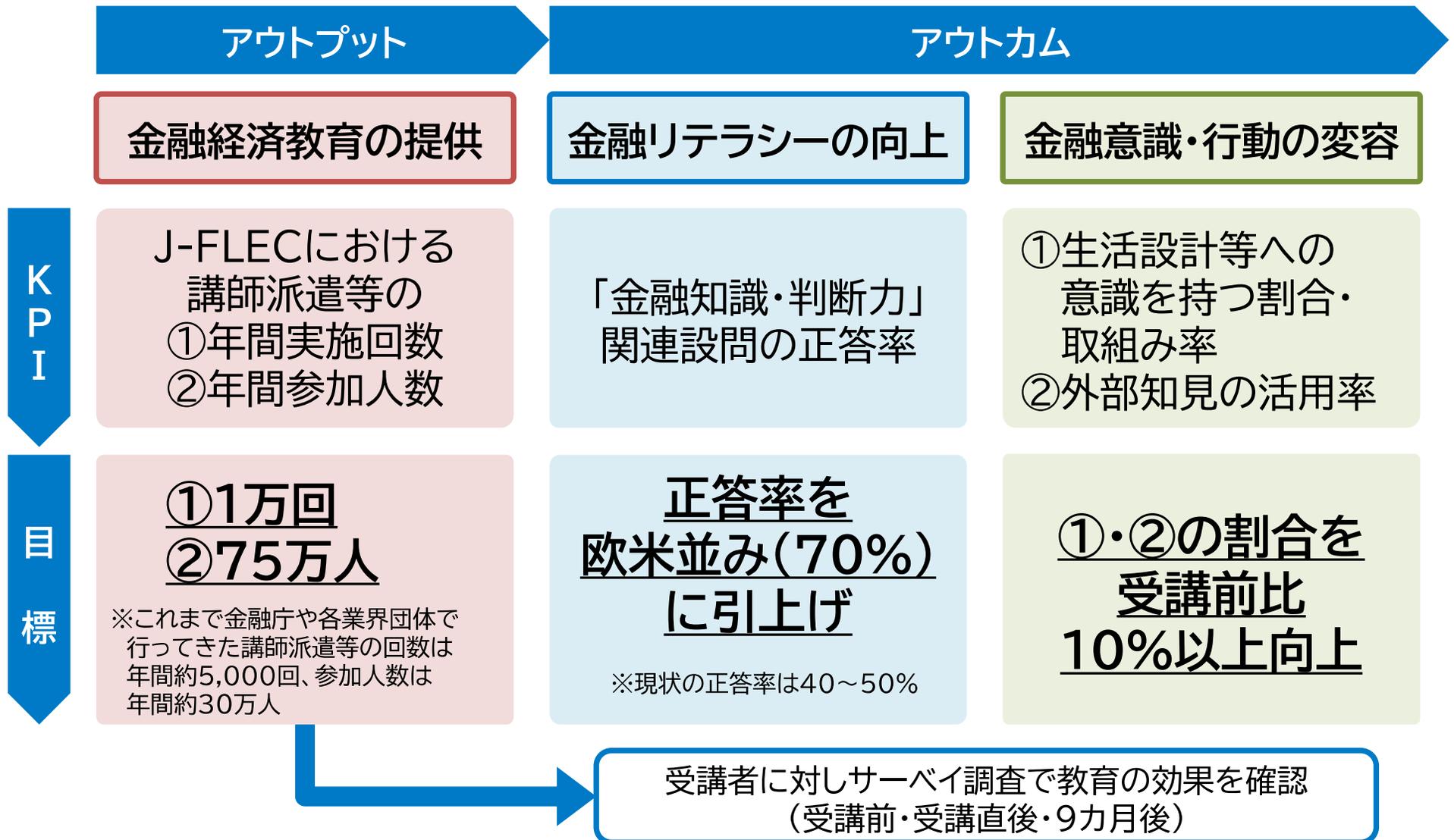
 J-FLEC
認定アドバイザー

相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受け
るきっかけとしていただく。そして、自分自身が取べき具体的な行動についての
理解を深めていただく。

 個人の金融意識・
金融行動の変容

 一人ひとりが描くファイナンシャル・
ウェルビーイングの実現

- アウトカムの測定とサーベイ調査に関連するKPIとして、下記の3点をJ-FLECのKPI及び目標として設定します。



J-FLEC (ご参考) 金融庁・厚生労働省との共催セミナー(令和6年9月25日)

8

- 令和6年9月25日、金融庁及び厚生労働省と共催で「金融経済教育・資産形成セミナー」を開催予定。
- 同年8月1日、本セミナーについて特設ウェブサイトをオープンし、参加申込みの受付を開始。

【開催概要】

日時: 令和6年9月25日(水)18時30分～20時00分

形式: ハイブリッド(文科省講堂+Youtube Live)

※金融経済教育や資産形成に関心を持つ一般の方々のほか、公務員、職域教育に関心を持つ企業関係者、教育関係者等向け。

【プログラム】

内容	登壇者	所要時間
冒頭挨拶	政府高官(P)	2～3分
J-FLECによる講義	J-FLEC講師	30分
NISAに関する説明	金融庁職員	20分
iDeCo等に関する説明	厚生労働省職員	20分
事前質問への回答	J-FLEC講師	15分

※プログラムは今後変更の可能性がある。



新型コロナウイルスの影響により5年ぶりの開催となった霞が関資産形成セミナーでは、金融商品から得られる利益が非課税になる少額投資非課税制度「NISA」や、国民年金や厚生年金などの公的年金に上乗せされる年金制度「個人型確定拠出年金」iDeCo)について専門家が解説。会場には300人以上の中央省庁の職員が来場するなど、職員の資産形成に対する関心の高さをうかがわれた。なお、この日の進行は野村 泰蔵氏(金融庁 総合政策課 総合政策課 金融知識普及係)が務めた。

昨年(2023年6月16日)の金融庁・厚生労働省・内閣人事局共催による霞が関資産形成セミナーの様子
(出典)Goodway